

第2回 学校運営協議会会議要項（記録）

期日 令和7年11月8日（土）

時間 10時40分～

場所 中和小学校 図書室

進行（教頭）

参加者：8名（欠席0名）

1 始めのことば（教頭）

2 会長あいさつ（藤崎会長）

3 校長あいさつ（校長）

4 協議（議長：藤崎会長）

（1）経営計画の進捗状況について（校長）

- ・校長が、経営計画の進捗状況について、資料をもとに、説明した。

（2）次年度の学校運営協議会委員の選出について（教頭）

- ・児童委員の任期がまもなく終了するため、次の児童委員に運営委員を引き継ぎたい。
学校より
- ・任期終了後は、児童委員の立場ではなく、地域住民として引き続き助言をいただきたいと考えている。

（3）その他（地域に関する報告・意見交流等）

○地域学校協働活動の報告（教頭）

- ・今年度の地域学校協働活動の様子について、参加状況や成果、課題等をふまえて説明した。

○閉校記念事業について（教頭）

- ・閉校記念事業準備委員会の立ち上げまでの経過、今後の閉校事業の見通しについて報告した。また、閉校に関する児童の意識について、アンケート結果をもとに説明した。

○学校評価について（校長）

- ・学校評価の実施について、説明した。

〈意見交流〉

○学校経営について

- ・校長を先頭に、子供たちも職員もよくまとまっている。
- ・花いっぱい活動は地域とのつながりなので、このまま閉校まで続けて欲しい。

- ・教職員のモラールアップ研修の中で、スポーツをしたり、料理をしたりといったコミュニケーション向上の取組がよい。

○すずがね祭りについて

- ・すずがね祭りの、子供の歌声にジーンとくるものがあった。
- ・すずがね祭りは、子供たちの発表する姿も良かったが、座って聴いている姿も良かった。全員が良い表情で聴いていて、本当に感心した。
- ・祭り体験は、PTAの半分ほどが役員を務めており、みんなで協力して運営していた。子供たちが少ない中でも、上学年の児童が下学年の児童を連れて歩いて回っており、温かい雰囲気であった。
- ・上学年、下学年が仲良くやっているのがよかった。
- ・子供たちの姿に、地域や学校がしっかり築かれてきたことを感じた。

○閉校記念事業について

- ・自分自身も中和小の出身なので、母校の閉校には特別な思い入れがある。実行委員長を中心として、大変な事業が進められると思うが、よろしく願いたい。
- ・閉校事業については、区長会としても協力していきたい。
- ・閉校に向けたアンケートを見ると、子供は未来に向かってわくわくドキドキしていくものだなあと思う。高齢者中心に進めるのではなく、子供たちの意見も取り入れながら記念の取組を行って行くことが大切だと感じた。子供たちが気持ちよく次に進めるようにしていただきたい。
- ・合併しても、すずがね祭りのような体験ができるとよい。

○大原幽学の教えについて

- ・4年生社会科見学で、大原幽学記念館を見学した際に、児童が「幽学が行ったことのなかで一番効果的であったものは何か」という質問を館長さんにした。館長さんは、「これが一番というのは難しいが、強いてあげれば『人づくり』だと思う」と回答くださった。中和地域の温かさや支え合う精神は、そうした教えに根付いているのかもしれないと感じた出来事であった。
- ・長部地区は、冠婚葬祭を地味に行うといった他の地区とは異なる風習が残っている。これも、幽学先生の教えが地域に根付いていることの一つの例なのかもしれない。

5 連絡

(1) 学校運営協議会今後の予定（教頭）

- ・第3回学校運営協議会 2月25日（水） 15：00

午後 6年生を送る会開催

6 終わりのことば（教頭）